

「主は新しい事をされる」 イザヤ43：14～21

今年、最初の礼拝に主の恵みにより、招かれ参加できた恵みを心から感謝したい。今年最初の礼拝で、今日しか聞く事の出来ない御言葉に心の耳を傾けたい。この新年礼拝で「新しい」という御言葉をキーワードとして耳を傾けましょう。

I 「見よ。わたしは新しい事をする。今、もうそれが起ころうとしている。あなたがたは、それを知らないのか。確かに、わたしは荒野に道を、荒れ地に川を設ける」：19。1. 主は、出エジプトの際には、主は「激しく流れる水の中に通り道を設け」（：16）て、イスラエルを救い出し、エジプト軍を水で滅ぼされた。その主が言われる。「見よ。わたしは新しい事をする」：19。「新し事」とは、バビロンからの解放の事を示し、それだけではなく、終末の救いについても示していよう。そして、終末の救いの完成、主の再臨を待ち望む私達の歩みにも、主は新しい事をされ続ける。この新しい年にも！私達には、先のことはわからない。しかし、主は、新しい事をして下さるお方！この一年も、この主を見上げ、信頼して歩みたい。「目が見たことのないもの、耳が聞いたことのないもの、そして、人の心に思い浮かんだことのないもの。神を愛する者のために、神の備えてくださったものは、みなそうである」（I コリ2：9）。※「私たちは毎日を、毎時間を、いや毎分を、新しい始まりとして、また、すべてのことが新しくなるまたとない機会として生きる術を学ぶべき…過ぎゆく一刻一刻を、新しいいのちの秘められた時として生きることができたら、一日一日を素晴らしい約束に満ちた日として生きることができたら、新しい年を迎えて、『あなたのための贈り物を早くあなたに見せたくて待ちきれません』という声を絶えず聴きながら、その一年を過ごすことができたら、どうでしょうか」（ナーウェン）。2. 「確かに、わたしは、荒野に道を、荒れ地に川を設ける」：19。私達の人生には、順調な道ばかりではなく、霊的な荒野の道、荒れ地がある、またやって来る。しかし、私達は、一人ぼっちではない。常に主が、私達を見守り、常に共におられ、主に真剣に祈り拠り頼み続ける時、時満ちて、荒野に道を、荒れ地に川を設けて下さる。※パレスチナの地は、本当に水が少ない。川は、とても貴重である→「野の獣、ジャッカルや、だちょうも、わたしをあがめる。わたしが荒野に水をわき出させ、荒れ地に川を流し、わたしの民、わたしの選んだ者に飲ませるからだ」：20。主は、今年も、私達の人生の荒野に霊的な水を湧き出させ、霊的な荒れ地に霊的な川を流し、主に祈り求める私達に、霊的な水（命の御言葉の恵み、御聖霊の恵み）を飲ませて下さる→「だれでも渴いているなら（この自覚が大切）、わたしのもとに来て飲みなさい（原語：飲み続けなさい）。わたしを信じる者は、聖書が言っているとおり、その人の心の奥底から、生ける水の川が流れ出るようになる」（ヨハネ7：37、38）。

II 主は、私達の人生に新しい事をされるだけではなく、この一年も、私たち自身をも新しくされ続ける素晴らしいお方！「主を信じ洗礼を受けて終わりではない。新しくされ続ける。今年も！①「だれでもキリストのうちにあらば、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました」（II コリ5：17）。主を信じた時から、完成したのではなく、すべてが新しくなることが始まった。②「私たちは勇気を失いません。たとえ私たちの外なる人（肉体）は衰えても、内なる人（主を信じ、新しく造られた魂、霊、心）は日々新しくされています」II コリ4：16。「私たちはみな、顔のおおいを取りのけられて、鏡のように主の栄光を反映させながら、栄光から栄光へと、主

と同じかたちに姿を変えられて行きます。これはまさに、御霊なる主の働きによるのです」 3 : 1 8。

Ⅲ 終末、終わりの時、主の再臨の時に全く新しくされる事を待ち望みつつ、残された地上での生活の使命を主に拠り頼んで喜んで果たして行きたい。 1. 救いの完成の日がいつか来る→「私は、新しい天と新しい地とを見た。以前の天と、以前の地は過ぎ去り、もはや海もない。…『見よ。神の幕屋が人とともにある。神は彼らとともに住み、彼らはその民となる。また、神ご自身が彼らとともにおられて、彼らの目の涙をすっかりぬぐい取ってくださる。もはや死もなく、悲しみ、叫び、苦しみもない。なぜなら、以前のものが、もはや過ぎ去ったからである。』…『見よ。わたしは、すべてを新しくする』黙 2 1 : 1 - 5。 2. 確実に、終わりの日、主の再臨、すべて新しくされる日が一年一年、一日一日近づいている。 3. 但し、その日は、人間にはわからない。世の終わりの日時を予言する異端に注意！「ただし、その日、その時がいつであるかは、だれも知りません。…ただ父だけが知っておられます」マタイ 2 4 : 3 6。

Ⅳ 素晴らしい神の恵みへの応答。この新しい年、一日一日。 1. 神との素晴らしい交わり、御言葉と祈りの時を大切に。個人的にも互いにも祈り合う。聖書通読。 2. キリストの体としての主日礼拝を大切に。礼拝は、神の特別の喜びと祝福の時。 3. 「地上に残された時を、もはや人間の欲望のためではなく、神のみこころのために過ごすようになるのです」 I ペテロ 4 : 2。「神のみこころは、あなたがたが聖くなることです」 I テサ 4 : 3。 4. 「わたしのために造ったこの民はわたしの栄誉を宣べ伝えよう」イザ 4 3 : 2 1。この一年、まず私たち自身が主の恵みと御聖霊に満たされて、感謝の心から、主の素晴らしさ、救いの福音を家族、知人に伝えたい。私達も、まだ主を知らない私達の家族、知人も、いつまで生きているかわからない。「人の子は、思いがけない時に来る」マタイ 2 4 : 4 4。いきなり、言葉で福音を伝えても、相手は戸惑う。まず、祈りつつ主からの愛を示すことができますように。時満ちて、聖霊が相手の心に働かれ、主の救いを求める心が与えられ、永遠の行き先を決める素晴らしい主の救いを伝える事ができますように！